

一般質問

平野 広行 議員

清流クラブ

緊急避難場所などの現状、 取り組みはどうか

問

東日本大震災が発生して以来、2年半が過ぎ当市も各小学校区への防災広場の建設から、高さを求める対策に変更している。

本市における防災対策（緊急避難場所）の現状、取り組み方について尋ねる。

(1) 学区ごとの津波・高潮緊急避難場所の収容人数、地区の住民数の現状は。（ただし、桜・日の出小学校区、また十四山地区を一つの単位とする。）

(2) 収容率の低い白鳥・弥生地区の今後の対策は。

(3) 市民に対する避難場所の周知をどのように考えて

いるか。

既存施設の活用、民間施設の協力をお願いしていく

答 防災安全課長

(1) 左の表のとおり。

地区	人口	収容人員	1人当り 2m換算	1人当り 1m換算
単位	(人)	(人)	(%)	(%)
弥生	11,147	2,604	23.3	46.7
桜・日の出	15,662	10,111	64.6	129.1
大藤	3,270	1,538	47.0	94.1
栄南	3,081	2,578	83.7	167.3
白鳥	5,709	2,210	38.7	77.4
十四山	5,720	3,859	67.5	134.9
市全体	44,589	22,900	51.3	102.7

市内各地区緊急避難場所の収容人数表

(人口は、平成25年9月1日現在)

- ・十四山地区の数値は、十四山中学校に建築された屋外避難階段完成後の数値(表紙写真参照)。
- ・1人当たり2m換算とは、大人1人が寝転び寝返りが出来る程度を想定したものである。
- ・1人当たり1m換算とは、緊急時を想定した値であり、起立した状態を想定したものである。

財政情報、市政情報の発信に 工夫すべきではないか

問

市の財政、予算は「広報やとみ」で報告されているが、難しくてなかなか理解されていない現状の中尋ねる。

(1) 新規事業、重点事業、話題性のある事業等は、わかりやすい予算説明書をつくってはどうか。新しい事業、話題性のある事業は、広く市民にPRすべきではないか。

(2) 対外的な発信力として弥富市をPRするためにも

バックにきんちゃんマークのパネルを設置してはどうか。

わかりやすい予算説明に改善し
ホームページに掲載したい

答 総務部長

(1) 来年度から、市民にわかりやすい予算の説明のため、改善を加えた予算概要説明資料を市ホームページに掲載したい。

(2) デザインについては未定であるが、来年の春からバックパネルを採用していきたい。

